

授業概要

～基礎から学ぶ韓国語入門～

基礎的なコミュニケーションに必要な韓国語の基礎文法を学び、簡単な読解と日常会話ができることを目的とする。授業の6回目までは、発音と読み書き、単純な会話を中心に、正確な発音を身につけてもらい、同時に聞く力、書く力、読む力をつけて行く。基本の読み書きが終わったら異文化体験やリスニングのために映画やドラマ、音楽など韓国文化にも触れながら学習者が緊張せず、自由に話せるように指導する。

授業計画

第1回	ガイダンス及び韓国の文字（ハングル）と音韻体系
第2回	あいさつと韓国語の基本母音
第3回	ハングルの子音①「平音」と「複合母音 ‘에 (エ)’」
第4回	ハングルの子音②「激音・硬音（濃音）」
第5回	ハングルの複合母音
第6回	パッチムと発音の変化
第7回	読み書き練習・音楽 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第8回	自己紹介—助詞「～は・～が」、肯定文・疑問文「～です・～ですか」 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第9回	指示代名詞「これ・それ・あれ」、助詞「～も」、疑問詞「何」 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第10回	指示代名詞「ここ・そこ・あそこ」、否定文「～ではない」 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第11回	「～にある・いる」「～にない」、位置名詞、疑問詞「どこ」、助詞「と」 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第12回	助詞「～を」、用言の丁寧語、場所を表す「～で」 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第13回	復習、家・会社・道などの案内 *文化体験（映像・リスニング 20分）
第14回	歴史・映画①
第15回	歴史・映画②・まとめ
第16回	試験

到達目標

1. ハングルの発音表記をマスターして、正確な発音と読み書きができるようにする。
2. 基礎的な文法事項を一つずつ学び、簡単なコミュニケーションができるようにする。
3. 韓国語・韓国文化を通して、他者への理解を深めコミュニケーション能力を高める。

履修上の注意

1. 外国語の授業なので、発表・ペアで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 30分以内の遅刻でも授業への積極さを考慮し、出席とする。

予習復習

1. 予習については、毎回、提示されるテキストを読んできてくこと。
2. 復習については、毎回、提示される課題をやってくること。

評価方法

会話活動など積極的な参加が求められる外国語科目なので、平常点（50点—授業の参加度・小テスト・課題・発表）、試験（50点）を予定している。

テキスト

秋学期に韓国語Ⅱの受講を望む学生はテキストが必要になる。半期だけの受講を望む学生には、ページ数と授業回数を考慮したところ、テキストの全てを活用することができないため、テキストのプリントを配布する。
*『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』改訂版（CD付）木内明著、国書刊行会（2,100円＋税）